

# 根来山げんきの森倶楽部

令和5年2月作業日誌

活動日：令和5年2月19日(日) 9:30～15:30 天気：雨 倶楽部員：36人

今回の作業はあいにくの雨でしたが、この日はまさに雪が雨へと変わって降り注ぐ「雨水（うすい）」の季節でもあり、それが終わると生き物が活動し始める「啓蟄（けいちつ）」となります。作業は限られてしまいましたが、次の季節が訪れるのが楽しみです。

## うるし谷整備

ベテラン勢のチームワークがキラッ☆

本日の作業はベテランばかり4名の参加です。  
雨が降っていたので管理棟広場でできる作業にしました。  
以前にOさんからいただいていた分厚い端材をOさんに丸鋸で長さ60cmに切断してもらい、溝蓋づくりに挑戦です。棧（さん）にする木ももらっていたので、65mmと90mmの釘で裏側から留めます。表はインパクトドライバーでねじ釘を留めました。ドライバーの扱いも手慣れたもので、またたく間に見事に立派な溝蓋ができあがりました。後は、防腐剤を塗るだけなので管理棟横の広場の隅に置いてもらっています。  
少し早めに自然薯汁をいただいて昼食を取り、4人でウルシ谷に行き、溝工事の来月の予定を話し合っ別れました。  
雨の中、ごくろうさまでした。（山口 倅）



## 味噌汁作り

名残惜しい・・・この冬最後のお味噌汁



2月の定例活動日も味噌汁を作りました。  
お天気のややこしい中、それでも30人を超えるクラブ員さんたちが活動に来られていて、味噌汁も作りががあります。  
今回のメンバーはKさん、Sさん、Oさん、私の4人です。  
いつものように作りかけっていると、雨がよいよ本降りになり、作業を切り上げて帰ってくる班や、屋根のあるデッキで作業をする班など、周りに作業の人たちが多く、いつもよりザワザワした中での調理になりました。  
寒い雨の中、味噌汁で皆さん温まっていただけのことと思います。  
この冬の活動日の味噌汁は今回が最後です。  
また秋以降をお楽しみに。（森 留津）

今日はあいにくの天気でしたが、堀田さんが取り付けてくださったというブルーシートのテントのおかげで、快適に作業ができました。

## 【作業内容】

## AM

窯から炭を出し、その炭を10cm程の長さにカットし袋に入れていく一袋の重さは10kgに。間にコーヒー休憩も入れながらみんな黙々と作業しました。

## PM

AMに終わらなかった炭のカット作業  
その後、次の炭を焼く準備  
窯の中に気を並べる作業  
木の並べ方  
火口に近い場所には、腐った木  
壁沿いには、細い木  
真ん中に太い木



作業を終え、櫻井さんが持って来てくださったお餅を、横で薪割をしていた皆さんも加わり、一緒においしくいただきました。七輪で焼くお餅は格別ですね！

櫻井さんごちそうさまでした！

お餅を完食した後は、窯を閉じる際に使う土の下ごしらえで、この日の活動を締めくくりました。

## 本日の成果

25袋 250kg

先日の大雪の影響で中々温度が上がらず、いつもより3日多く焼いたため、出来上がりが心配でしたが、いつも通り出来ていて一安心、と須山さん。

初めての炭出しに、美味しいお味噌汁・お餅、良い一日になりました！ (北山 幸奈)



げんきの森ペディア  
～吉兆の草 ミツマタ～

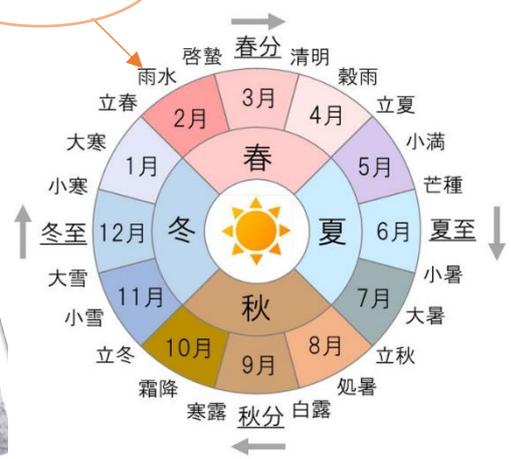
## ジンチョウゲ科

良質な紙の原料としてよく知られる「ミツマタ」。新しい枝が常に3本ずつ出ることから名付けられました。このため枝の分岐点を数えれば樹齢が分かるそうです。万葉集で詠われる「三枝(さきくさ)」はミツマタという説もあります。





今年の雨水は  
2/19 ~ 3/5



炭焼き小屋の所にたまっていた炭材と薪にする丸太の整備のために、3月初めにみんなで薪割り大会を行いました。小学生も参加しながら重たい斧を使って太い丸太を割っていったのですが、うまく割れるとかなり爽快です。いちどその爽快感を味わうと病みつきになります。

でも、この日だけでは薪割りは終わらなかったなので、その後も何度か薪割り作業を行っているのですが、まだすべては割れていません。お時間のある方は薪割り作業をお願いします。

岡田 和久

編集：谷藤 秀子